

目の不自由な方に「ひろしま市議会だより」の点字版とカセットテープ版を発行しています。希望される方がおられましたら、ご連絡ください。(申し込み、問い合わせ 市議会事務局秘書広報室広報担当 ☎504-2439 FAX504-2448)

一般質問



第5回定例会・本会議

◎発言順に掲載(※紙面の都合上、1人2問以内で掲載しています。質問内容は、発言議員本人の提出によるものです。)

発言項目

◎発言順に掲載

●三宅正明

(自民党・保守クラブ・安芸区)

・経済の活性化
・安心・安全

●八條範彦

(市政改革ネットワーク・安佐南区)

・飲酒運転撲滅の取り組み
・新幹線口広場周辺道路の交通処理

・アストラムライン延伸

・安佐市民病院の建て替え

・平和教育の発信

●森本健治

(市民連合・中区)

・被爆70周年の取組

・広島市の地震・津波対策

・旧広島市民球場跡地の暫定活用

・デートDV対策

・基町住宅地区の活性化

・自転車都市づくりの推進

・動物愛護行政(地域猫)

●碓氷芳雄

(公明党・安佐南区)

・平和行政

・2025年問題と地域包括ケア

・システムの構築

・有床診療所の防火体制の強化

・空き家対策

・学校におけるがん教育



三宅正明 自民党・保守クラブ (安芸区)

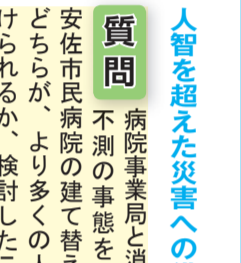
制度融資をもっと使いやすく

質問

事前審査制度の見直しをはじめ、取引金融機関および保証協会と市は積極的に協議し、制度融資を中小企業に使いやすくする必要がありますが、いかがですか。

答弁

最近の金融機関等の状況を見ると、金融庁の指導により、条件変更や積極的な対応など中小企業に軸足を置いた運用が行われ始めています。今年度新設した借換融資(特例)が、要件が厳しすぎたため、利用が伸びていないことから、より利用しやすいものとなるよう、金融機関等と具体的な協議を行いたいと考えています。



三宅正明 自民党・保守クラブ (安芸区)

人智を超えた災害への備えは

質問

病院事業局と消防局は、不測の事態を想定し、安佐市民病院の建て替え両案のどちらが、より多くの人々を助けられるか、検討したことがありますか。

答弁

消防局の洪水ハザードマップなどから、荒下地区に建て替える場合は堤防整備が不可欠であるため、堤防の太田川河川事務所に対し、堤防の前倒し整備の要請を行うなど、浸水被害、地震、土砂災害について検討を行っています。両案いずれにしても、不測の事態の想定は必要であり消防局を含め関係部局等との密接な連携のもと適切に対処します。



洪水ハザードマップ



森本健治 市民連合 (中区)

南海トラフ巨大地震

質問

地震被害想定に基づき、津波の危険性を周知しない方が被害に遭わないようにするための方策の一つとして、多くの市民が通行する主要な交差点や、防災教育の場でもある学校などに、その土地の海拔と併せて、津波による浸水の深さを表示していく必要があるのではないかと考えますが、どのようにお考えですか。

答弁

本市ではデルタ部を中心に、津波のほか、洪水や高潮による浸水も想定されており、これらの浸水から市民の安全を守るためには、海拔や浸水の深さに加え、避難方向や避難場所などの情報を、多くの市民の目に触れる場所に表示することも必要であると考えています。このため、現在、先進事例の調査等を行っており、今後は、表示の内容及び方法、場所などについて関係部局とも協議し、検討していきたいと考えています。



広島デルタ部



近松里子 日本共産党 (中区)

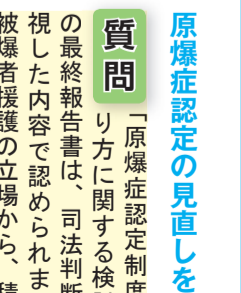
国保料1.6倍の値上げ

質問

国民健康保険料の計算方式変更により、激変緩和措置等を行っても、障害者・ひとり親・子育て世帯に、1.6倍の値上げが計画されています。到底容認できない負担増です。一般財源の繰り入れで、軽減策を行うべきではありませんか。

答弁

一般会計からの繰り入れは、保険料収入を補完する性格のものに限定されています。このたびの激変緩和措置は、保険料の算定方式の変更に伴うものであり、保険料総額を減らすものではないため、それにかかる費用は、徴収すべき保険料を負担する加入者全体で調整すべきものと考えています。



森本健治 市民連合 (中区)

原爆症認定の見直しを

質問

「原爆症認定制度の在り方」に関する検討会の最終報告書は、司法判断を無視した内容で認められませんが、被爆者援護の立場から、積極的に認定するよう認定制度の見直しを急いで国に求めるべきですが、どうですか。

答弁

本市としては、行政の乖離を埋めるといって検討会設置の趣旨に立ち返り、被爆者に寄り添った制度になるよう、国として踏み込んだ方策を講じてほしいと考えています。これを伝えるため、12月16日に、内閣総理大臣等に要望を行います。

原爆症認定制度の在り方に関する国への要望(12月16日)

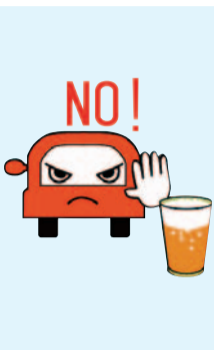
飲酒運転撲滅の都市に

質問

飲酒運転撲滅を目指し、本市が他都市にないくらい厳しく真剣に取り組むことと、県に対し条例制定と取り締まり強化の申し入れについての考えを伺います。

答弁

条例については、現在、県において、飲酒運転根絶対策分科会が設置され、対策強化について検討されていることから、まずはその成果を見定める必要があると考えています。いずれにしても、諸対策の着実な実施を県にしっかりと要請していきます。今後とも、県等と連携・協力し、飲酒運転のない社会の実現に向け、全力を挙げて取り組んでいきます。



八條範彦 市政改革ネットワーク (安佐南区)

安佐市民病院移転建設を

質問

地元説明会を開催し、事業局としては、「荒下地区」と「現在地」のどちらの候補地が、建て替え場所としてよりふさわしいと考えているのか伺います。

答弁

移転する場合は、地域のアクセスが改善されることなどが考えられます。一方、現在地でも、急性期病院としての役割を引き続き果たすことはできますが、移転した場合には、病院経営の安定化に資するだけでなく、安佐北区全体に変化をもたらし、その活性化を図るきっかけになると考えています。

ケネディ大使就任への期待

質問

大学時代に平和記念資料館を訪問し、広島への思いも強いケネディ駐日米大使の就任は大いに歓迎すべきことだと考えます。本市の平和行政の上から、大使の就任についてどのような感想・期待をお持ちですか。

答弁

キャロライン・ケネディ駐日米大使は、広島訪問から35年を経た現在でも、被爆地広島に特別な思いを持ち続けてくださっているようであり、大変うれしく思っています。12月16日には大使館を訪ね、二度目の訪問をお願いします。大使には、日米両国の新たな架け橋として、ヒロシマ・ナガサキの思いを本国政府に伝え、オ



ケネディ大使との面会 (12月16日、米国大使館提供)



碓氷芳雄 公明党 (安佐南区)

「空き家対策」の取り組み強化を

質問

少子高齢化や核家族化を背景に、老朽空き家が急増しています。条例の制定も視野に入れた取り組みが急務だと考えますが、市としての見解を伺います。

答弁

条例制定は、周辺への根拠になると認識していません。他都市の取り組み状況を踏まえ、本市の老朽空き家の現状などを考慮し、近い将来に直面する課題として検討することが適切であると考えています。

安佐市民病院の建て替え

質問

建て替え場所について、地域には、それぞれ思いや利害があると思います。部分最適ではなく、全体最適の視点をもった考えも必要ではないでしょうか。市長は「いつ」「どのような形」で、最終決定を公にしようと考えていますか。

答弁

安佐北区内の地元の評価について、病院事業局としてとりまとめ、現在は、庁内の関係部局で、最終的なとりまとめを行っています。この検討をもとに建て替え場所を決定し、関係予算を2月議会には諮りたいと考えています。



安佐市民病院



元田賢治 爽志会 (南区)

「飲酒運転根絶都市」の宣言を

質問

本市は、飲酒運転根絶に向けて強い意思表示をすべきです。そこで、県に対する条例の制定の働き掛けと市自ら飲酒運転根絶都市宣言をすべきではありませんか。

答弁

条例制定については、検討をお願いしています。現在、県の飲酒運転根絶対策分科会で対策の強化が検討されており、まずその成果を見定める必要があると考えています。また、飲酒運転根絶都市宣言については、まずは職員の飲酒運転の根絶を徹底していく中で、分科会の成果を見ながらしっかりと検討したいと思っています。